

# まちのニュース えっ! そうなんだ。

栄町は水に囲まれた小島のように、長門川や利根川、将監川に囲まれています。そのため明治からそれ以前は物資の輸送や文化の交流などが、舟によって行われていました。物資の輸送に使われた舟は高瀬舟という舟が使用され、明治25年頃には蒸気船も走るようになりました。しかし活気あふれた水運も鉄道の開通などで徐々に衰退していきました。

## 「安食駅」「成田線」は元気な112歳!

昭和45(1970)年に安食小学校で社会科副読本として作られた『町の人のお話集=あじき町の昔と今=』に成田線開通当時の様子が古老の思い出として語られています。

○成田線が開通し安食駅が出来る時、地元の人々は反対したとのことで、そのため現在の町からずっとはずれた方に出来たという。古い町に駅が出来る時、このようなケースが多い。現在の町は駅を中心に発展していくが、古い町は全く正反対である。(鷲町 寺本ふじさん)

○成田線は明治34年4月1日に開通。当時は弁当もちで汽車見物に来る人が山をなしたときいている。それ以前は、成田参詣や香取様のお田植え祭には、誰も彼も全部徒歩でお参りした。当時これらの小遣は5銭か10銭で充分で、お土産まで買ってこられたと、古老から聞かされている。その後、自転車2台が安食へお目見えしたのは明治43年頃である。(木塚 伊藤信夫さん)

成田線開通から112年間、昭和44年に姿を消した蒸気機関車やその後の電車も変わりゆく風景を見続け、また安食駅も多くの乗降客を見守り続けています。ローカルな映画に出て来るような安食駅・・・。

ちょっと不便なところもありますが、これからも「元気なまちの玄関口」として「安食駅」をみんなで大事にしていきたいと思います。



明治末期頃の安食駅の様子



現在の安食駅の様子  
(陸橋から撮影)

## 安食駅周辺をきれいにしよう!

栄町の玄関口「安食駅」。駅の周りがきれいだと、利用する町内外の人の気持ちがなごみ、いい町だなんて感じてもらえると思います。そういう思いの人が集まった「安食駅前・美化清掃友の会」は平成23年10月から、毎月草取りやトイレ掃除を和気あいあいと楽しく行っています。活動中に「ごろうさま」と声をかけられるようになってきました。みんなで栄町の玄関をきれいにしましょう!

集合場所: 安食駅南口前  
日 時: 毎月末日の1回  
(雨天中止・12月(大晦日)は休み)  
5月~9月 8:30~  
10月~4月 9:00~  
持 ち 物: 軍手、鎌  
問合せ: 安食駅前・美化清掃友の会

きれいになったら  
気持ちいいね!

